

医療法人マザリー SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2024年9月25日

医療法人マザリー
理事長 澁川 敏彦

◆経営方針

安心・安全・満足した出産環境と育児支援を「人財育成」により、好循環なサービスを提供し続けます。

◆目指す姿

妊娠・出産だけでなく、未来を担う子どもたちを育てるお母さん・ご家族のために、色々な取り組みを通して支援・サポートします。
また、女性の生涯を見据えた、心身の健康をトータルでサポートします。

SDGsの達成に向けた取り組み

職場の人権・働きがい

多様性を受け入れ、社員それぞれが仕事への目標を持ってステップアップし、自己実現できる職場環境作りをする。

<具体的な取り組み>

障がい者・高齢者雇用／多職種の教育環境整備／多様な研修会への参加・研修会参加者から職員へのフィードバック研修／院内学会・研修報告会

— 関連ゴール —



地域貢献

社員が地域から求められている役割が担えるよう勤務環境調整、担うための勉強会・研修会を実施する。

<具体的な取り組み>

若者を対象にした性/生に関する健康教育／婚前の男女に向けた健康教育（プレコンセプションケア）／子育て中の親を対象につどいの場の提供／助産師・保育士への相談体制／ホームページを活用し専門知識・情報の提供

— 関連ゴール —



ワークライフバランス

社員それぞれの生活に応じた働き方により、家庭生活と仕事の両立がしやすい環境作りをする。

<具体的な取り組み>

法令順守／各種休暇を取得しやすい環境作り／柔軟な勤務体制

— 関連ゴール —



環境への配慮

職員の取り組みを通し、医院を利用する人々にも働きかけられるよう、職員の意識向上を図る。

<具体的な取り組み>

消耗品購入は、可能な限りサイクル製品やエコ製品を選ぶ／印刷は裏紙利用（機密書類以外）する／マイ箸の利用

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

